

## 仕様書

再生可能エネルギー部

### 1. 件名

太陽光発電主力電源化推進技術開発／動向調査等／次世代型太陽電池の社会実装に係る規制に関する動向調査

### 2. 背景・目的

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、太陽光発電を含む再生可能エネルギーの主力電源化を目指し、太陽光発電の最大限導入を進めていく必要があります。こうした中、平地の少ない我が国において、適地の確保が導入拡大に向けた大きな課題の一つとなっています。この課題を克服する手段の一つとして、既存の技術では太陽光発電を設置できなかった場所にも導入を進めていくために、電池の軽量性や壁面等の曲面にも設置可能な柔軟性等を兼ね備え、性能面（変換効率や耐久性等）でも既存電池に匹敵する次世代型太陽電池の開発が不可欠であります。

本調査では、重量制約のある屋根、建物壁面等の新市場において、次世代型太陽電池を含む太陽光発電の社会実装を支援する取り組みとして、社会実装において留意すべき国内外の規制の状況や動向に関する情報を収集し、整理すると共に、ペロブスカイト太陽電池に代表される次世代型太陽電池に係る規制策定に向けた取り組みに関する分析・考察を行います。

なお、得られた結果の一部については、NEDOが年に数回開催する「技術検討委員会／推進委員会」で活用するとともに、「グリーンイノベーション基金事業／次世代型太陽電池の開発」の技術・社会実装推進委員会の運営等にも活用する予定です。

### 3. 内容

本調査では、以下の情報収集・分析・考察を行います。

#### (1) 新市場における従来型太陽電池に係る規制の状況および動向

実用化、社会実装に向けて充足すべきESH (Environment, Safety and Health) の観点で、国内外で留意すべき規制の状況および今後の動向に関する情報の収集・整理を幅広く行う。

なお、情報収集にあたっては、国内外の企業、有識者や専門家、関連機関等に対するヒアリングを行うなど、公開情報だけでは得られない情報の収集も行う。

#### (2) ペロブスカイト太陽電池に代表される次世代型太陽電池に係る規制の動向

ペロブスカイト太陽電池の特徴（軽量、フレキシブルなど）を踏まえた実用化、社会実装に向けて、付加的に留意すべき規制の状況および今後の動向に関する情報の収集・整

理を幅広く行う。

なお、情報収集にあたっては、国内外の企業、有識者や専門家、関連機関等に対するヒアリングを行うなど、公開情報だけでは得られない情報の収集も行う。

#### 4. スケジュール案（変更の可能性あり）

2024年7月26日 公募開始

2024年8月9日 正午 公募締切

2024年8月下旬 書面審査の実施

2024年9月上旬 委託先の決定

#### 5. 委託期間

NEDO が指定する日（2024年度）から 2025年 3 月31 日（月）までとします。

#### 6. 予算額

委託業務（NEDO負担率100%）として、総額19百万円以内とします。

#### 7. 報告書

提出期限：2025年3月31日（月）

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って作成の上、提出してください。

<http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

ただし、報告書提出に先立ち、2024 年9月及び2025年2月を目途に、調査内容を取りまとめたパワーポイント報告資料を提出してください。

#### 8. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会での報告等を依頼することがあります。

以上